

2018年度 事業計画

2018年3月1日から
2019年2月28日まで

公益財団法人 日本野球連盟

2018 年度事業計画

1. 事業方針

定款第 3 条に掲げる目的を達成するため、公益目的事業として以下に掲げる 3 つの事業を実施する。

【公益事業】

- I. 都市対抗野球等、野球大会の開催と運営
- II. 野球競技の普及に関する事業
- III. 野球情報提供事業

また、収益事業としては以下のとおりとする。

【収益事業】

- IV. 野球大会のグッズ及び野球に関する書籍等の販売

これら事業の方針は以下のとおりとする。

公益 I. 都市対抗野球等、野球大会の開催と運営

【趣旨】

広範な国民が参加できる野球大会を主催するなど、最も国民に広く親しまれているスポーツである野球競技を通して、心身の健全な発達及び豊かな人間性の涵養を図ることを目的とした活動を実施する。この目的を達成するため、ア～サの事業は共通の目的を達成する手段と位置付けられることから一つにまとめる。

【事業内容と概要】

ア. 都市対抗野球大会

社会人野球を象徴する大会であり、加盟する全てのチームが予選に参加することができる。本連盟が運営する本大会は各地区の予選を勝ち抜いた高い競技力を持っているチームにより行われる。また、各地区予選で敗退したチームの中からも優れた選手を選出し補強選手として試合に出場させることができるため、どの試合も非常に高い技術レベルで行われる。一方で、各チームとも所在地をおく都市名で大会に参加することから、地域や母体となる企業との協力体制による応援組織が結成され、スタンドには多くの観客が詰め掛け、地域色豊かな応援が繰り広げられる。さらに球場内は、試合展開による緊張感と両チームの応援合戦による雰囲気により、スタンドの観客には独特な一体感がもたらされる。出場するチームの地元地域や母体となる企業には多大な士気高揚の効果を与えている。

また、都市対抗を目指すチームは、各都市のシンボルとしても認められる存在であることが重要な要素であり、日本野球連盟としては、基本理念と活動指針を定めて周知徹底を図り、常日頃より当該市町村や地域住民に対する様々な貢献策の実施や社会の模範となるべき行動の推進を求めている。

イ. 社会人野球日本選手権大会

社会人野球のその年度のチャンピオンを決する大会として位置付けている。都市対抗野球大会をはじめ、その年度中に行われる全国規模の大会で優勝したチーム並びに各地区の最終予選を勝ち抜いたチームが出場して行われる。従って、単独チームとして最も技術レベルの高い大会である。

ウ. 全日本クラブ野球選手権大会

日本野球連盟に加盟登録するチームの内、会社登録（会社等の法人が設立する）チーム以外のクラブ登録チームによる全国大会であり、各地区予選を勝ち抜いた代表チームが参加する。優勝チームには社会人野球日本選手権大会（前記イ。）の出場権が与えられる。

エ. 各地区クラブチーム大会

日本野球連盟に加盟登録するチームの内、会社登録（会社等の法人が設立する）チーム以外のクラブ登録チームを対象にしている。クラブ登録チーム数が急増し、近年、「ウ」の大会への出場が「狭き門」となっていることから、次のレベルのクラブチームの目標となる大会として2006年度に「東日本クラブカップ大会」、「中日本クラブカップ大会」、「西日本クラブカップ大会」の三大大会を制定した。

2015年度からは、更なるクラブ野球の振興を図るため、クラブカップ大会は発展的に解消とし、各地区クラブ大会としてそれぞれ各地区連盟との共催による八大大会（中国と四国は合同）を制定、2016年度以降、継続して実施する。

オ. 指導者育成事業

ア～エの各大会においてより高いレベルのチームを作り、トップレベルの選手を育成していくため、現場の指導に携わる指導者の資質向上を図ることを目的とする。高い技術と経験と知識に裏付けされた理論を学び、討論や実習、講演などでカリキュラムを構成する。参加対象は原則として加盟チームの指導者とするが、一般の指導者からの参加要望があれば受け付ける。また、各地域で開催する指導者講習会に対しても一定の規則に則り、講師の派遣や経費支援等も行う。

カ. 審判員育成事業

ア～エの各大会など、技術レベルの高い試合を担当できる審判員の育成並びに優秀な審判員を育成するための指導者を育成することを目的とする。理論や技術講座並びに数多くの経験に基づく講話等のカリキュラムで構成する講習会の実施や各地域で開催する講習会に対しても一定の規則に則り、講師の派遣や経費支援等も行う。

キ. 公式記録員育成事業

ア～エの各大会など、技術レベルの高い試合を担当できる公式記録員の育成並びに優秀な公式記録員を育成するための指導者を育成することを目的とする。理論や技術講座並びに数多くの経験に基づく講話等のカリキュラムで構成する講習会の実施や各地域で開催する講習会に対しても一定の規則に則り、講師の派遣や経費支援等も行う。

ク. 場内アナウンス研修事業

ア～エの各大会など、技術レベルの高い試合を担当できる場内アナウンサーの育成並びに優秀なアナウンサーを育成するための指導者を育成することを目的とする。理論や技術講座並びに数多くの経験に基づく講話等のカリキュラムで構成する講習会の実施や各地域で開催する講習会に対しても一定の規則に則り、講師の派遣や経費支援等も行う。

ケ. コンディショニングスタッフ研修事業

ア～エの各大会においてより高いレベルのチームを作り、トップレベルの選手を育成していくため、選手のコンディショニングの指導に携わるスタッフの資質向上を図ることを目的とする。高い技術と経験、知識に裏付けされた理論を学び、討論や実習、講演などのカリキュラムで構成する研修会を実施する。参加対象は原則として加盟チームのコンディショニングスタッフとするが、一般の指導者からの参加要望があれば受け付ける。また、各地域で開催する講習会に対しても一定の規則に則り、講師の派遣や経費支援等も行う。

コ. 競技力向上事業

ア～エの各大会において、より高いレベルのチームにより行われていくため、トップレベルの選手を育成するために以下の事業を実施する。また、各地域で行われる講習会に対しても一定の規則に則り、講師の派遣や経費支援等も行う。

- ・全日本ジュニア強化合宿

将来有望な若手選手を招集し、技術やコンディショニングに関する先端情報を提供し、連盟が指名する指導者による実践練習等を行う。

- ・優秀選手研修会

日本を代表するレベルの選手を招集し技術やコンディショニングに関する先端情報を提供し、連盟が指名する指導者による実践練習等を行う。

- ・交流大会、親善試合の開催

指導者や選手等のレベル向上を目的とする交流大会や親善試合を実施する。又は、交流大会や親善試合に派遣する。

サ. 海外研修及び派遣事業

- ・優秀選手及びチーム、又は選抜選手によるチームの海外研修派遣を実施する。

- ・指導者、審判員、記録員等の海外研修派遣を実施する。

公益Ⅱ. 野球競技の普及に関する事業

【趣旨】こどもから大人まで幅広い年齢層を対象に、野球競技の普及振興および野球選手、指導者、審判員、記録員の育成を目的とした事業を実施し、活力あるスポーツ社会の実現に向け貢献する。

【事業内容と概要】

ア. 野球指導者育成事業

野球の指導に携わる指導者の資質向上を図ることを目的とする。高い技術と経験と知識に裏付けされた理論を学び、討論や実習、講演などでカリキュラムを構成する。参加対象は広く一般からの参加を受け付ける。また、各地域で開催する少年野球団体が主催する指導者講習会に対しても一定の規則に則り、講師の派遣や経費支援等も行う。

イ. 審判員育成事業

審判員の育成並びに審判員を育成するための指導者を育成することを目的とする。理論や技術講座並びに数多くの経験に基づく講話等のカリキュラムで構成する講習会の実施や各地域で少年野球団体が主催する講習会に対しても一定の規則に則り、講師の派遣や経費支援等も行う。

ウ. 公式記録員育成事業

公式記録員の育成並びに優秀な公式記録員を育成するための指導者を育成することを目的とする。理論や技術講座並びに数多くの経験に基づく講話等のカリキュラムで構成する講習会の実施や各地域で少年野球団体が主催する講習会に対しても一定の規則に則り、講師の派遣や経費支援等も行う。

エ. コンディショニングスタッフ研修事業

選手のコンディショニングの指導に携わるスタッフの資質向上を図ることを目的とする。高い技術と経験、知識に裏付けされた理論を学び、討論や実習、講演などのカリキュラムで構成する研修会を実施する。また、各地域で少年野球団体が主催する講習会に対しても一定の規則に則り、講師の派遣や経費支援等も行う。

オ. 中学硬式野球指導者育成事業

日本野球連盟下に置く中学硬式野球協議会参加団体において子どもたちの指導に携わる指導者の資質向上を図ることを目的とする。高い技術と経験と知識に裏付けされた理論を学び、討論や実習、講演などでカリキュラムを構成する。参加対象は広く一般からの参加を受け付ける。また、各地域で開催する少年野球団体が主催する指導者講習会に対しても一定の規則に則り、講師の派遣や経費支援等も行う。

カ. 野球教室、ティーボール教室

野球競技に関係する団体やチームに参加している子どもたちだけに限らず、広く多くの子どもたちに野球競技に親しむことができる機会を提供することを目的とする。基本となる技術やルール、楽しみ方などを伝える。

キ. 競技力向上事業

野球競技の底上げのため、小・中学生等のジュニア層や女子野球の国際試合に対する派遣や支援等を行う。

ク. 国際的野球競技普及振興事業

指導者や審判員の海外への派遣や国際大会の際の用具等の支援、また海外チームが野球研修で来日した際の受入れや支援をする。

ケ. 展示による普及活動

博物館等への展示により普及振興活動を実施する。

公益Ⅲ. 野球情報提供事業

【主旨】野球という国民的スポーツを更に多くの人に知ってもらい、競技に参加できる機会を増やすと同時にスポーツへの参加意識を高めることを目的とする。

【事業内容と概要】

年刊会報誌及び月刊会報誌を発刊し、有償又は無償で関係先に配布する。

収益事業 IV. 野球大会のグッズ及び野球に関する書籍等の販売

【事業内容】公益事業で掲げた野球大会のグッズ、野球に関する書籍等の販売を行う。

2. 本年度の事業内容

(1) 公益目的事業Ⅰ 都市対抗野球等、野球大会の開催と運営

ア. 第89回都市対抗野球大会

期 日 7月13日(金)～7月24日(火)

球 場 東京ドーム

参加チーム 32チーム

各地区予選 全国各地で行われる予選には全ての加盟チームが参加することが出来る。各地区予選は、それぞれ当該地域の地区連盟又は都道府県連盟が運営にあたることとし、当連盟はかかる予選運営費について、一部経費を負担する。

記念事業企画委員会

2019年度に実施する「第90回都市対抗野球大会・創立70周年」記念事業について、昨年に続き、企画委員会において具体的な事業内容についての協議を行う。

イ. 第44回社会人野球日本選手権大会

期 日 11月1日(木)～11月13日(火)の間で調整

※日本選手権の大会期間については、プロ野球オリックス球団との協議により決定する。

会 場 京セラドーム大阪

参加チーム 32チーム

各地区等予選 各対象大会及び全日本クラブ選手権大会には出場枠があり、予選に位置づける。各予選に対し、一部経費を負担する。また、各社会人野球全国大会事業費として会長杯を寄贈し、10回ごとの節目となる記念大会には、記念事業費(上限30万円)を負担する。

※社会人野球日本選手権大会の対象とするJABA大会は以下のとおり10大会とする。

北海道・東北、長野県知事旗、日立市長杯、東京スポニチ、静岡、ペーブルース杯、京都、岡山、四国、九州

ウ. 第43回全日本クラブ野球選手権大会

期 日 9月10日(月)～13日(木)

球 場 メットライフドーム

参加チーム 16チーム

エ. 各地区クラブ大会

*大会概要

主 催：日本野球連盟、各開催地地区連盟

名 称：各地区連盟で検討する。

運営費：大会運営費は、JABAが負担する。ただし、1大会に対する負担の上限は100万円とし、これを超える費用は共催の地区連盟が負担する。詳細は別途通知する。

*各地区連盟の開催状況

地区	回	大会名	期間	球場	参加	大会方式
北海道	4	北海道地区クラブ選手権	9/1,2,8	岩見沢・栗山町	12	トーナメント
東北	4	東北クラブカップ大会	9/1～2日間	はるか夢・岩木山総合	8	トーナメント
北信越	4	北信越クラブ選手権	9/23～2日間	新潟市営鳥屋野	7	トーナメント
関東	11	関東クラブ選手権大会	9/29～2日間	市営浦和、市営川通	8	トーナメント
東海	4	東海地区クラブ選手権	9/22～3日間	岡崎市民	17	トーナメント
近畿	4	近畿クラブ会長杯	11/23～3日間	新日鐵住金広畑、高砂	8	トーナメント
中、四国	4	中・四国クラブ野球選手権	9/15～10/13の間で4日間	津田恒実メモリアルS他	12	トーナメント
九州	13	九州地区クラブ選手権	10/6～2日間	別大興産S・新日鐵住金明野	8	トーナメント

※ア～エに共通する事業

■各種プログラム管理(プログラム維持・JABA登録事務手続システム)

選手登録・大会出場管理システムの管理にかかる費用該当分については、大会運営に直結することから法人会計との按分により大会事業費に計上する。

■広報活動

日本野球連盟報(年刊会報誌)、JABAニュース(月刊会報誌)の編集発行にかかる費用のうち、大会事業にかかる部分につき、公益事業Ⅲ(スポーツ情報提供事業)と費用按分にて計上する。

社会人野球情報誌「グランドスラム」の制作に対する協力金を拠出する。また、インターネット公式ホームページを開設し、大会事業にかかる部分につき、公益事業Ⅱ(普及振興事業)と費用按分にて計上する。

■表彰事業（年間表彰式）

主要大会の成績に基づく表彰事業を実施する

期 日 12月13日（木）

会 場 KKRホテルTOKYO

オ. 指導者育成事業

■第43回指導者研修会

期 日 2019年1月12日（土）

場 所 TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター

企画・運営 競技力向上委員会

参 加 者 加盟各チームの指導者

■各地区指導者育成事業に対する支援

各地区連盟又は加盟団体が実施する指導者育成事業に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施する。（加盟地方団体普及振興事業費）

カ. 審判員育成事業

■全国審判講習会の開催

期 日 2019年2月9日（土）～11日（月）

場 所 四国コカコーラボトリングスタジアム（香川県丸亀市）

協 力 四国地区連盟

企画・運営 規則・審判委員会

参 加 者 加盟団体審判員

■各地区・都道府県審判員育成事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣
各地区連盟又は加盟団体が実施する審判員育成事業に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施する。（加盟地方団体普及振興事業費・地方審判講習会指導者派遣費）

キ. 公式記録員育成事業

■公式記録員実地研修の実施（実地研修につき大会運営費に計上）

期 日 7月13日（金）～7月24日（火）

場 所 東京ドーム

参 加 者 各地区連盟推薦記録員等

（第89回都市対抗野球大会公式記録実地研修）

指 導 公式記録部会委員

■各地区・都道府県公式記録員育成事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

各地区連盟又は加盟団体が実施する公式記録員育成事業に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施する。（加盟地方団体普及振興事業費）

ク. 場内アナウンス研修事業

■各地区場内アナウンス担当者実地研修の実施（実地研修につき大会運営費に計上）

期 日 7月13日（金）～7月24日（火）

場 所 東京ドーム

参 加 者 各地区連盟推薦場内アナウンス担当者

（第89回都市対抗野球大会において実地研修）

指 導 連盟推薦講師

- 各地区・都道府県場内アナウンス育成事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣
各地区連盟又は加盟団体が実施する場内アナウンス担当者育成事業に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施する。(加盟地方団体普及振興事業費)

ケ. コンディショニングスタッフ研修事業
本年度は実施しない。

コ. 競技力向上事業

- 野球技術等に関する研究会を実施する。

- ・ピッチング研究会
- ・バッティング研究会
- ・守備走塁研究会
- ・フィジカル研究会

※競技力向上委員会活動として実施する。

- 全日本ジュニア強化合宿を実施する。

期 日 未定

場 所 未定

運 営 競技力向上委員会

協 力 未定

参 加 者 将来有望な選手(競技力向上委員会で選考)

※東西2会場での開催を検討中。参加者は50名～60名。

- 各地区連盟等主催クラブチーム所属競技者技術研修会に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

各地区連盟又は加盟団体が実施するクラブチーム競技者技術研修会に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施する。(加盟地方団体普及振興事業・競技力向上委員会活動)

- 各地区連盟等主催新人研修会に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

各地区連盟又は加盟団体が実施する新人選手研修会に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施する。(加盟地方団体普及振興事業・競技力向上委員会活動)

- 優秀選手の発掘を目的とする情報収集活動

各地で行われる大会等に競技力向上委員を派遣し、優秀選手に関する情報収集活動を行う。(競技力向上委員会活動)

- 全日本野球協会(BFJ)選手強化委員会事業に対する事業負担金の計上及び委員等の派遣

- ・BFJが実施する強化事業については、JABA加盟チーム選手や指導者が多数参加することからかかる事業費に対する負担金を計上する。主なBFJ事業は以下のとおり。

- ・社会人代表選手強化合宿

期 間 3月16日(金)～18日(日)

会 場 JR東日本グラウンド

- ・社会人代表強化合宿
期 間 6月21日(木)～24日(日)
会 場 佐伯市民球場(大分県佐伯市)
- ・ニカラグア招待試合(決定)
期 間 7月29日(日)～8月9日(木)・・・(試合日は3日～5日)
試 合 ニカラグアとの交流試合(3試合)
費 用 渡航費・滞在費はニカラグア側負担(人数等未定)
国内交通費・派遣前合宿に係る費用はJABAに計上する。
- ・第18回アジア競技大会
開催国 インドネシア・ジャカルタ
期 間 8月26日(日)～9月1日(土)
参 加 8カ国・地域(予定)
※スタッフ及び選手はJABAから選出
- ・全日本野球協会からの要請に応じて国際大会等への代表者等を派遣する。
日本代表チーム監督、コーチ及び関係スタッフ
各大会運営スタッフ(審判員、記録員等)

サ. 海外研修及び派遣事業

■社会人選抜チームによる海外派遣を実施する。

- ・大会名 アジアウインターリーグ
開催地 台湾
期 間 11月22日(木)～12月17日(月)
参 加 6チーム
韓国プロ選抜、NPBイースタン選抜、NPBウエスタン選抜、
台湾プロ選抜、JABA選抜、1チーム未定
試 合 6チーム総当り(各17試合)+プレーオフ(対戦方法未定)

※ア～サの事業実施にかかる共通事項

事業の企画運営のため、競技力向上委員会、規則・審判委員会及び公式記録部会を置き、委員が各種事業運営にあたり、各地区研修事業の講師を務める。

※オ～サの事業実施にかかる共通事項

オ～サの事業実施に際しては、同一の事業であっても大会運営に関わる事業内容と普及振興に関わる事業内容が含まれるため、事業費は公益事業Ⅰ(都市対抗野球等、野球大会の開催と運営)と公益事業Ⅱ(普及振興事業)にそれぞれ按分する。

(2) 公益目的事業Ⅱ 普及振興事業

ア. 指導者育成事業

■第43回指導者研修会

- 期 日 2019年1月12日(土)
- 場 所 TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター
- 企画・運営 競技力向上委員会
- 参 加 者 加盟各チームの指導者

■各指導者育成事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣
各地区連盟又は加盟団体等が実施する指導者育成事業に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施する。(各加盟地方団体普及振興事業)

■公益財団法人日本体育協会の事業への協力

日本体育協会に対し代表者を選出し、加盟団体として必要とされる事業協力を行う。(指導者育成事業など・日本体育協会加盟)

イ. 審判員育成事業

■全国審判講習会の開催

期 日 2019年2月9日(土)～11日(月)
場 所 四国コココーラボトリングスタジアム(香川県丸亀市)
協 力 四国地区連盟・香川県野球連盟
企画・運営 規則・審判委員会
参 加 者 加盟団体審判員

■各審判員育成事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

各地区連盟又は加盟団体等が実施する審判員育成事業に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施する。(加盟地方団体普及振興事業・地方審判講習会指導者派遣)

ウ. 公式記録員育成事業

■各公式記録員育成事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

各地区連盟又は加盟団体等が実施する公式記録員育成事業に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施する。(加盟地方団体普及振興事業)

エ. コンディショニングスタッフ研修事業

本年度は実施しない。

オ. 中学硬式野球指導者育成事業

■第12回全日本中学野球選手権大会(ジャイアンツカップ)の開催

期 間 8月13日(月)～17日(金)
会 場 東京近郊
参加チーム 各地区予選を勝ち抜いた32チーム
読売新聞社との共催

■各加盟団体等主催指導者講習会に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

各加盟団体が実施する指導者講習会に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施する。

■加盟団体からの要請に基づき委員を派遣する。(少年野球巡回指導)

※ア～オに拘わる共通事項として女子野球普及振興事業を実施

■全日本女子野球連盟に対する役員の派遣、一部事業費負担、各種研修会に対する講師等の派遣(加盟全国団体普及振興事業)

カ. 野球教室、ティーボール教室

■野球教室、ティーボール教室開催に対する一部事業費の負担及び講師の派遣
各地区連盟又は加盟団体等が実施する野球教室、ティーボール教室に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施する。

(野球競技普及振興助成金)

※本年度は、幼稚園児を対象とするティーボール教室の全国一斉開催を実施することとし、指導に携わる関係者に教本を配布し、開催幼稚園に用具を寄贈する。(14頁から20頁 参照)

■東日本大震災野球復興事業

都市対抗野球大会に出場したチームとの協力により東日本大震災被災地域における普及振興事業を行う。

- ・野球教室、高校野球指導者とのシンポジウム
- ・ティーボール教室
- ・高校野球選手の交流事業

キ. 競技力向上事業

■各加盟団体等が行う競技力向上事業に対する一部事業費の負担及び講師の派遣

各加盟団体が実施する競技力向上事業（選抜チームの海外派遣含む）に対する一部事業費の負担、講師の派遣等を実施する。（加盟全国団体普及振興事業・加盟全国団体国際大会出場補助）

■全日本野球協会の選手強化本部事業のうち、以下に掲げるカテゴリーの日本代表チームに関する編成派遣業務について協力する。

- ・女子日本代表（加盟全国団体普及振興事業・国際大会出場補助）
第8回WBS C女子ワールドカップ（フロリダ：8/22～30）
- ・U15日本代表（硬式）（中学硬式野球協議会事業）
第4回WBS C U15ワールドカップ（パナマ：8/10～19）

ク. 国際的野球競技普及振興事業

■第28回世界少年野球大会

※一般財団法人 世界少年野球推進財団（WCBF）との共催で事業を実施する。運営は、WCBF並びに開催地地元自治体代表者による組織委員会及び実行委員会を組織して行う。2018年度の開催地は島根県松江市で開催の予定。（8/1～9）

※組織委員会及び実行委員会の要請に応じて、大会運営スタッフやインストラクターを選考し、派遣する。

■世界野球ソフトボール連盟並びにアジア野球連盟加盟国等からの要請に応じて指導者の派遣や用具の支援を行う。

ケ. 展示による普及活動

野球殿堂博物館の維持会員として運営協力を行う。

※ア～クの事業実施にかかる共通事項

■ア～クの事業実施に際して、同一の事業の中で大会運営に関わる事業内容と普及振興に関わる事業内容を含んで実施する場合は、事業費は公益事業Ⅰ（都市対抗野球等、野球大会の開催と運営）と公益事業Ⅱ（普及振興事業）にそれぞれ按分する。

■野球規則の制定に関する協議（全日本野球協会加盟）

規則・審判委員会を設置し、競技規則に関する協議を行う。また、全日本野球協会アマチュア野球規則委員会に代表者を派遣し、野球競技規則制定に関する協議に参画する。

■野球競技の競技施設、用器具等の指導及び公認に関する協議（全日本野球協会加盟）

全日本野球協会アマチュア野球規則委員会に委員を派遣し、競技施設、用器具等の指導及び公認に関する協議に参画する。また、製品安全協会に委員を派遣し、野球競技の用器具に関する協議に参画する。

■アオダモ資源育成の会に対する協力（アオダモ資源育成の会加盟）

選手が使用する木製バットの資源育成のため「アオダモ資源育成の会」の事業に協力する。

（3）公益目的事業Ⅲ 野球情報提供事業

■2018年度版日本野球連盟報の発行、配布

2018年度における当連盟の事業や野球に関わる事項等をまとめて発行する。制作部数は2, 200部（予定）、配布先は当連盟内外の関係先、販売も行う。

■月刊会報誌「JABAニュース」を年12回発行、JABA内外の関係先へ配布する。発行部数は毎回1万部（予定）。

※toto助成金の対象事業である。

※事業実施に際して、大会運営に関わる事業内容の情報提供と普及振興に関わる事業内容の情報提供を含んで含んでおり、事業費については公益事業Ⅰ（都市対抗野球等、野球大会の開催と運営）と公益事業Ⅱ（普及振興事業）にもそれぞれ按分する

（4）収益事業

■大会グッズ等の販売

都市対抗野球大会、社会人野球日本選手権大会、全日本クラブ野球選手権大会におけるグッズやプログラム等の販売を行う。

■野球関連の書籍の販売

公認野球規則、社会人野球ガイドブック「グラウンドスラム誌」の販売を行う。

（5）その他

■2018年度JABA公式大会の承認

- ・各地区連盟及び各加盟地方団体から届出のあった2018年度各JABA大会について別紙のとおり承認した。（13頁参照）
- ・四国アイランドリーグPlusと協議した結果、四国大会に高知ファイティングドッグスが出場する。

■野球競技の競技施設、用器具等の指導及び公認に関すること

2018年度における社会人野球の公式戦で使用するボールは以下に掲げる「JABA公認ボール店」11社から申請があったボールとする。

イソノ運動具店、ミズノ、久保田運動具店、松勘工業、エスエスケイ、ゼット、アシックス、一光スポーツ、ハイゴールド、サンアップ、大阪ホーム
以上11社とする。

■NPB所属プロ球団との交流試合

「2018年プロ・社会人交流試合の申し合わせ事項」に則り実施する。

■国内独立リーグとの交流試合

国内独立リーグの球団との交流試合は協定書に基づいて実施する。

■2018年度の各種負担金は以下のとおりとする。

①2018年度加盟団体負担金及び登録料

<u>加盟地方団体負担金</u>		
新加盟チーム加盟金	〔 会社登録チーム クラブ登録チーム	20,000円
		10,000円
加盟チーム負担金	〔 会社登録チーム クラブ登録チーム	20,000円
		10,000円
<u>加盟全国団体負担金</u>		
加盟全国団体加盟金		50,000円
加盟全国団体負担金		100,000円
<u>登録料</u>		
役員登録料		2,000円
競技者登録料		2,000円

②2018年度一般賛助会員入会金及び年会費

一般賛助会員	入会金	無 料
	年会費	2,000円

③2018年度JABA公式大会への参加料に関する件

2018年度におけるJABA公認大会並びにJABA準公認大会に参加するチームの参加料は、主催する地区連盟又は加盟地方団体が定めることとする。ただし、他地区連盟の加盟チームの上限を1チーム150,000円とする。

■登録システムの再構築及び運用

2016年度より運用している「JABA登録システム」について、より円滑な運用のため、システムの一部修正と新規追加が必要となっており、本年度に再構築を実施する。完成後は資産に計上する。

※加盟団体事務担当者会議の開催

事業計画の遂行及び普段の事務手続きや連絡調整業務の円滑化、再構築後の登録システムの運用促進を図るため、各加盟団体事務担当者会議を開催する。

以上

2018年度JABA公式大会結果

回数	大会名	期間	球場	優勝チーム	準優勝チーム
89	都市対抗野球	7/13～12日間	東京ドーム		
43	全日本クラブ野球選手権	9/10～4日間	メットライフドーム		
44	社会人野球日本選手権	11/1～11/13の間で調整中	京セラドーム大阪		

※日本選手権の大会期間については、プロ野球オリックス球団との協議により決定する。

地区連盟主催大会

【日本選手権対象大会】

回数	大会名	期間	球場	優勝チーム	準優勝チーム
73	JABA東京スポニチ	3/11～4日間	神宮・大田S・岩槻川通球場	H o n d a	H o n d a 熊本
65	J A B A 静岡	4/3～5日間	浜松・清水庵原球場	三菱重工名古屋	J R 東日本
47	J A B A 四国	4/5～5日間	春野・高知市営球場	H o n d a	トヨタ自動車
41	JABA日立市長杯	4/13～6日間	日立市民・ひたちなか市民球場	J R 東海	日立製作所
61	J A B A 岡山	4/13～5日間	マスカットS・倉敷市営球場	大阪ガス	日本通運
60	J A B A 長野	4/18～5日間	長野県営・長野オリンピックS・中野市営	トヨタ自動車	西濃運輸
69	J A B A 京都	4/26～5日間	わかさS京都・皇子山球場	パナソニック	東芝
71	JABAベープルース杯	5/2～5日間	大垣北公園・可児KYBS	西濃運輸	日立製作所
71	J A B A 九州	5/7～5日間	北九州市民・市立大谷球場		
60	J A B A 北海道兼	5/9～5日間	仙台市民・石巻市民球場		
49	J A B A 東北				

【その他大会】

回数	大会名	期間	球場	優勝チーム	準優勝チーム
60	J A B A 富山	4/13～3日間	富山市民アルペンS・富山県営球場	三菱重工名古屋	王子
48	JABA徳山スポニチ	4/28～4日間	津田恒実メモリアルS	沖データコンピュータ教育学院	MSH医療専門学校
61	J A B A 新潟	5/3～3日間	ハードオフエコS新潟球場	バイタルネット	ジェイプロジェクト
30	JABA一関市長旗	7/14～2日間	一関運動公園・東山・花泉運動公園・大東球場		
33	JABA高山市長旗	8/10～4日間	高山市中山公園・飛騨ふるかわ球場		
57	J A B A 広島	8/24～5日間	J R 西日本 G・マツダ S		
66	JABA伊勢・松阪	9/28～5日間	ダイムS伊勢・松阪球場		
44	J A B A 高砂	10/6～3日間	高砂・新日鐵住金広畑球場		
36	J A B A びわこ杯	10/26～3日間	皇子山・彦根球場		

【地区クラブ大会】

	大会名	期間	球場	優勝チーム	準優勝チーム
4	北海道地区クラブ選手権	9/1・2・8	岩見沢市・栗山町民球場		
4	東北クラブカップ	9/1～2日間	はるか夢・岩木山総合公園球場(予定)		
4	北信越クラブカップ	9/23～2日間	新潟市営鳥屋野球場		
11	関東クラブ選手権	9/29～2日間	市営浦和・岩槻川通球場		
4	東海地区クラブ選手権	9/22～3日間(予定)	岡崎市民球場		
4	近畿クラブ会長杯	11/23～3日間	新日鐵住金広畑・高砂球場		
4	中国・四国クラブ野球選手権	9/15～10/13の間で4日間	津田恒実メモリアルS 他		
13	九州地区クラブ選手権	10/6～2日間	別大興産S・新日鐵住金明野球場		

※ T→トーナメント

L→リーグ戦

LT→リーグ戦・決勝トーナメント方式を採用。



日野連109-26号
2018年4月3日

JABA各加盟チーム 御中
写) JABA各地区連盟 御中
写) JABA各加盟地方団体 御中

公益財団法人日本野球連盟
会長 市野紀生



JABAベースボールフェスティバル（創立70周年記念事業）
全国一斉ティーボール教室開催に対するご協力のお願いについて

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は、本連盟の各種事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本連盟では、ご承知の通り野球競技の普及振興事業の一環として、都市対抗野球大会並びに社会人野球日本選手権大会期間中にそれぞれ東京ドーム、京セラドーム大阪で幼稚園児を対象にした「ティーボール教室」を開催しています。（ティーボールとは、ティー台にボールを載せて打つ、投手がいない野球型スポーツであり、野球のスターターゲームです。）今後、更に多くの子供たちにボールやバットで楽しむ機会を提供するため、本連盟に加盟するチームと一致協力し、地域貢献も目的に掲げ、全国各地にティーボール事業を展開していきたいと考えております。

また、本連盟は、来年、創立70周年を迎えます。本事業は、創立70周年記念事業として「70」に準え、毎年10月7日を「ティーボールの日」とし、全国一斉開催を目指すといたしました。

本年度は、全国約200箇所の幼稚園（または保育園・認定こども園）で、10月7日から1週間の間にそれぞれの地元地域でのティーボール教室の開催を目指します。つきましては、全ての企業チームと本連盟が指名するクラブチーム（約40チーム）にそれぞれ地元地域の幼稚園（または保育園・認定こども園）での開催にご協力を賜りたく存じます。更には、本連盟として永くこの事業を継承してまいりたいと考えておりますので、併せてご理解をいただきたく宜しくお願ひ申し上げます。

敬具

記

1. 2018年度のティーボール教室開催協力依頼内容

(1) 概要

「10月7日」をティーボールの日とし、各加盟チームはこの日から1週間の間に各地域でティーボール教室を実施する。地元地域の幼稚園（または保育園・認定こども園）に必要な人数の選手を派遣し、ティーボール教室を行う。

(2) 本年度の実施要請

- ・会社登録チーム（別紙①に記載の92チーム） 2箇所
- ・本連盟指定のクラブ登録チーム（別紙②に記載の40チーム） 1箇所

(3) 当連盟から支給する用具等

※ティーボールセット（ティー台×5、バット×5、ボール×30個）

1会場につき1セットを本連盟から寄贈する。2箇所を超えて開催される場合の用具については各チーム負担にてお願いいたします。

1セットの価格2万5千円（調整中）

※教本

各チームに10冊ずつ配布しますので、訪問先の幼稚園（または保育園・認定こども園）への配布や指導する選手の参考資料として活用してください。

(4) 日本ティーボール協会との協力体制について

本連盟では、日本ティーボール協会と連携し、「ティーボール・ティーチャー」という公認指導者資格を有している指導者の派遣や事前の研修等について協力をいただくことを申し合わせています。

指導者の派遣については、各加盟地方団体（JABA各都道府県連盟）が窓口となり、それぞれ当該都道府県内の開催情報を集約し、日本ティーボール協会の各都道府県支部担当者との間で連絡、派遣調整をしていただくことになります。

また、本年8月から9月にかけて、日本ティーボール協会「特別公認指導者認定講習会」（1日5時間の講習会）を本連盟が共催して全国各地（ブロック別）で開催する予定です。カリキュラムの中には、特別実習として「幼児ティーボール（野球）指導の要点」（別紙④参照）を導入いたします。1ヶ月前までには、各チーム宛に開催要項を送付させていただきます。各チームには最低1名は受講（勝手ながら経費は各チーム負担）いただければ幸甚です。

なお、日本ティーボール協会の各都道府県担当者との連絡先は別紙③をご参照ください。

(5) その他

- ・別紙⑤は幼稚園（または保育園・認定こども園）への依頼状として活用してください。併せて本連盟に関する説明にあたっては、本連盟パンフレット（表紙が青）をご活用してください。各加盟地方団体（都道府県連盟）の在庫にて対応いただくので、それぞれ所属の都道府県連盟に確認してください。
- ・開催にあたっては、別紙⑥「開催申請書」を8月末日までに本連盟あて提出してください。
- ・開催後は、別紙⑦「実施報告書」を10月末日までに本連盟宛に提出してください。
- ・提出された開催申請書に基づき、本連盟が一括して傷害保険に加入いたします。

2. 問合せ

不明な点は本連盟事務局（担当 崎坂）までご連絡ください。

以上

全国一斉テニール教室協力会社登録チーム

【北海道（2）】

1. 航空自衛隊千歳
2. 室蘭シャークス

【東北（9）】

3. 自衛隊青森
4. トヨタ自動車東日本
5. JR盛岡
6. JR秋田
7. TDK
8. JR東日本東北
9. 七十七銀行
10. 日本製紙石巻
11. きらやか銀行

【北信越（4）】

12. バイタルネット
13. JR新潟
14. フェデックス
15. 伏木海陸運送

【東海（15）】

41. ヤマハ
42. スクールパートナーズ
43. 東邦ガス
44. JR東海
45. トヨタ自動車
46. 王子
47. 三菱重工名古屋
48. 新日鐵住金東海REX
49. 三菱自動車岡崎
50. 東海理化
51. ジェイプロジェクト
52. 西濃運輸
53. Honda 鈴鹿
54. 永和商事ウイング
- ※55. 日本プロスポーツ専門学校

【中国（8）】

68. 三菱自動車倉敷オーシャンズ
69. シティライト岡山
70. JFE西日本
71. JR西日本
72. 三菱重工広島
73. 伯和ビクトリーズ
74. ツネイシブルーパイレーツ
- ※75. MSH医療専門学校

【四国（3）】

76. 四国銀行
77. JR四国
78. アークバリア

【関東（25）】

16. 新日鐵住金鹿島
17. 日立製作所
18. JR水戸
- ※19. 日本ウェルネススポーツ大学
20. 茨城トヨペット
21. SUBARU
22. エイジェック
23. 日本通運
24. Honda
25. 深谷組
26. オールフロンティア
27. SUN ホールディングス
28. JFE東日本
29. 新日鐵住金かずさマジック
30. JR千葉
31. NTT東日本
32. JR東日本
33. 東京ガス
34. 鷺宮製作所
35. 明治安田生命
36. セガサミー
- ※37. 日本ウェルネススポーツ大学東京
38. 三菱日立パワーシステムズ
39. 東芝
40. JX-ENEOS

【近畿（12）】

56. カナフレックス
- ※57. 甲賀健康医療専門学校
58. 日本新薬
59. ニチダイ
60. 島津製作所
61. NTT西日本
62. 日本生命
63. パナソニック
64. 大阪ガス
- ※65. 履正社学園
66. 三菱重工神戸・高砂
67. 新日鐵住金広畑

【九州（14）】

79. JR九州
80. 九州三菱自動車
81. 西部ガス
- ※82. 日本ウェルネススポーツ専門学校北九州校
- ※83. 沖データコンピュータ専門学校
- ※84. 福岡医健専門学校
85. Honda 熊本
86. 鮮ど市場ゴールデンラークス
- ※87. 九州工科自動車専門学校
- ※88. 九州総合スポーツカレッジ
89. 宮崎梅田学園
- ※90. 宮崎福祉医療カレッジ
91. 沖縄電力
92. エナジック

合計92チーム（2018年4月1日現在）

※印は専門学校

全国一斉テニスボール教室
協力要請クラブ登録チーム一覧

【北海道（3）】

1. JR北海道硬式野球クラブ
2. 札幌ホーネッツ
3. 函館大洋倶楽部

【東北（4）】

4. 弘前アレックス
5. 水沢駒形野球倶楽部
6. 東北マークス
7. 富士通アイソティックBC

【北信越（3）】

8. 信越硬式野球クラブ
9. 千曲川硬式野球クラブ
10. 富山ベースボールクラブ

【東海（4）】

20. 浜松ケイスportsBC
21. 矢場とんブースターズ
22. 岐阜硬式野球倶楽部
23. 三重高虎BC

【関東（9）】

11. 茨城ゴールデンゴールズ
12. 全足利クラブ
13. 所沢グリーンベースボールクラブ
14. YBC柏
15. 千葉熱血MAKING
16. THINKフィットネス・GOLD'S GYM BC
17. 警視庁野球部
18. 横浜金港クラブ
19. 桂クラブ

【近畿（9）】

24. OBC高島
25. 湖南ベースボールクラブ
26. ミキハウスベースボールクラブ
27. 京都城陽ファイアーバーズ
28. 八尾ベースボールクラブ
29. 兵庫県警桃太郎
30. NOMOベースボールクラブ
31. 和歌山箕島球友会
32. 大和高田クラブ

【中国（2）】

33. 光シーガールズ
34. MJG島根

【九州（5）】

36. 荻田ビクトリーズ
37. 新日鐵住金大分
38. 鹿児島ドリームウェーブ
39. 佐賀魂
40. ビック開発ベースボールクラブ

合計40チーム

【別紙⑤】

2018年●●月●●日

●●幼稚園（または保育園・認定こども園）御中

●●●●（社名またはチーム名）

硬式野球部長 ●● ●●

JABAベースボールフェスティバル
ティーボール教室開催についてのお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、当野球部（チーム）の活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当野球部（チーム）は公益財団法人日本野球連盟（社会人野球を統括する団体）に所属していますが、同連盟では、野球競技の普及振興事業の一環として、都市対抗野球大会並びに社会人野球日本選手権大会期間中にそれぞれ東京ドーム、京セラドーム大阪で幼稚園児を対象にした「ティーボール教室」を開催しています。（ティーボールとは、ティー台にボールを載せて打つ、投手がいない野球型ゲームです。）今後、更に多くの子供たちにボールやバットで楽しむ機会を提供するため、加盟するチームと一致協力し、地域貢献も目的に掲げ、全国各地にティーボール事業の展開を進めております。

同連盟は、来年、創立70周年を迎えますが、記念事業として毎年10月7日を「ティーボールの日」とし、全国一斉開催を目指すこととなりました。

つきましては、貴園でのティーボール開催をご検討いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. ティーボール教室に関する依頼内容

(1) 日時

保育授業の一環として10月7日からの一週間の間に1時間程度

(2) 参加人数

20名～30名程度

(3) 会場

貴園の施設（園庭等）

(4) 用具等の支給

※ティーボールセット（ティー台×5、バット×5、ボール×30個）

使用後は寄贈させていただきます。

※教本（1冊） 参考資料として活用してください。

(5) 指導員の派遣

当野球部から数名と日本ティーボール協会にて研修を受けている指導員を派遣します。

(6) 傷害保険

公益財団法人日本野球連盟が加入します。

2. 問合せ

不明な点は以下の連絡先までご連絡ください。

所在地・連絡先：

社名・チーム名：

担当者名：

以上



日野連109-27号
2018年4月3日

JABA各加盟地方団体 御中
写) JABA各地区連盟 御中

公益財団法人日本野球連盟
会長 市野 紀



JABAベースボールフェスティバル（創立70周年記念事業）
全国一斉ティーボール教室開催に対するご協力のお願いについて

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は、本連盟の各種事業にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、本連盟では、ご承知のとおり野球競技の普及振興事業の一環として、都市対抗野球大会並びに社会人野球日本選手権大会期間中にそれぞれ東京ドーム、京セラドーム大阪で幼稚園児を対象にした「ティーボール教室」を開催しています。今後、更に多くの子供たちにボールやバットで楽しむ機会を提供するため、本連盟に加盟するチームに協力を要請し、地域貢献も目的に掲げ、全国各地にティーボール事業を展開していきたいと考えております。

また、本連盟は、来年、創立70周年を迎えます。本事業は、創立70周年記念事業として「70」に準え、毎年10月7日を「ティーボールの日」とし、全国一斉開催を目指すことといたしました。

本年度は、全国約200箇所の幼稚園（または保育園・認定こども園）で、10月7日から1週間間にそれぞれの地元地域でのティーボール教室の開催を目指し、別添のとおり関係各加盟チーム宛に協力要請しているところですが、本事業の実施にあたり、各加盟地方団体におかれましては、下記のとおりご協力いただきたく存じます。何卒宜しくお願いいたします。

なお、本連盟として永くこの事業を継承してまいりたいと考えておりますので、併せてご理解のほど宜しくお願いいたします。

敬具

記

1. 各加盟地方団体への協力依頼内容

(1) 各加盟チームに対する協力依頼内容の確認

(2) 本連盟パンフレット（表紙が青）の配布

各チームは、幼稚園（または保育園・認定こども園）に協力要請を行う際に本連盟の概要説明のため、本連盟パンフレット（表紙が青）を持参するよう通知しております。お手数ですが、各加盟地方団体の在庫から、それぞれ管轄の対象チームに必要部数を配布してください。在庫が不足している場合は、本連盟事務局（担当 崎坂）までご連絡ください。

- (3) 日本ティーボール協会各都道府県支部との連絡調整（指導者の派遣調整）
幼児への指導にあたり、日本ティーボール協会から「ティーボール・ティーチャー」という公認指導者資格を有する指導者を各会場に派遣していただけることになっています。

各加盟地方団体におかれては、当該都道府県内の開催情報を取りまとめて日本ティーボール協会各都道府県支部担当者（別紙③参照）と連絡を取り、指導者の派遣調整をお願いいたします。

※日本ティーボール協会から派遣の指導者に対する交通費等は不要です。

- (4) 日本ティーボール協会「特別公認指導者認定講習会」の受講促進
本年8月から9月にかけて、日本ティーボール協会「特別公認指導者認定講習会」（1日5時間の講習会）を本連盟が共催して全国各地（ブロック別）で開催する予定です。各チームには最低1名の受講（経費は各チーム負担）を要請していますが、今後も引き続きティーボールの普及事業を推進していくためにも、各加盟地方団体としても本事業のご担当者など是非受講していただきたくご案内いたします。なお、詳細は別途通知いたします。

2. 問合せ

不明な点は本連盟事務局（担当 崎坂）までご連絡ください。

以上

2018年度各加盟団体補助費等の支給について

1. 加盟全国団体（7団体）

- (1) 普及振興補助費 各団体上限 300,000円
※1事業に対する上限は10万円、複数の事業の申請がある場合の上限は30万円。
※従来 of 普及振興補助金は廃止する。
- (2) 国際大会出場補助費 各団体 200,000円
- (3) 少年野球巡回指導 要請に応じた人材を派遣する。
- (4) 中学硬式野球協議会関連事業
・各地区指導者講習会に対する講師の派遣
・全国大会に対するJABA会長杯の贈呈

2. 加盟地方団体等

(1) 各地区連盟

- ①普及振興補助費 各地区連盟とも上限 400,000円
※1事業に対する上限は10万円、複数の事業の申請がある場合の上限は20万円。
※各地区連盟新人研修会及びクラブチーム技術研修会の開催促進のため、それぞれの事業に各10万円（計20万円）を上限として支給する。

②都市対抗予選費

- 各地区連盟 160万円
各地区役員及び競技者登録料合計×10%

③社会人野球日本選手権大会予選費

- ・日本選手権対象JABA大会（10大会）
試合球 2打/試合
審判経費 20,000円/試合
※北海道大会と東北大会を統合することとしたため、北海道地区に対する支援は、北海道地区から派遣する役員に係る交通費及び出場するチームにかかる30名分の片道交通費とする。
・全日本クラブ野球選手権大会
出場チーム交通費 特急料金20名分（開催地当該地区代表チーム除く）

④各地区クラブ大会開催費

- 1大会に対する支援日の上限を100万円とする。（詳細は別途通知する。）

⑤JABA大会記念事業費助成金

- 該当する大会の主催連盟は別添の要領に基づき申請することができる。

3. その他

- (1) 各地方審判講習会への講師派遣（指定指導員1名）
(2) 各地区連盟主催新人研修会への講師派遣（競技力向上委員2名）
(3) 各地区クラブチーム技術研修会への講師派遣（競技力向上委員2名）
(4) 野球競技普及振興事業に対する支援
各地区連盟、各加盟団体、各加盟チームが実施するティーボール教室、野球教室に対する支援